



国際基金だより

Vol.31
2023 Summer



夏は暑さや湿度により、体調を崩しやすい季節です。そのため、夏バテや熱中症にならないために十分な水分補給が大切です。室内や屋外関係なく体の水分は暑さや汗で失われるため、**喉が渴く前にこまめに水分や塩分をとる**ようにしましょう。

また、**紫外線対策も重要**です。日焼け止めや日傘や帽子などを使用することで、体へのダメージを最小限にしましょう。

喉が渴く前にこまめな水分補給を

脳神経外科勉強会の実施予定

公益財団法人加藤庸子国際基金では藤田医科大学ばんだね病院とともに健康に関する様々な勉強会を実施しております。講師の先生方はわかりやすく講演して下さるので、是非ご覧ください。

無料でどなたでも参加いただけます。

脳神経外科勉強会の実施予定

- 6月12日17:30～19:00 第28回藤田医科大学ばんだね病院健康講座
- 6月30日15:00～16:00 第2回オンライン救急セミナー
- 7月10日17:30～19:00 第29回藤田医科大学ばんだね病院健康講座
- 8月 7日17:30～19:00 第30回藤田医科大学ばんだね病院健康講座

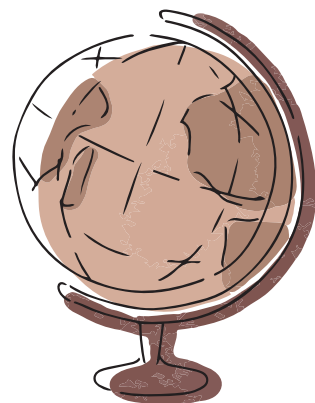


寄付してくださった方への感謝

公益財団法人加藤庸子国際基金では、多くの方々から寄付をいただいております。寄付により、発展途上国への支援や留学生の支援や援助などに大切に使用させていただいております。2023年3月14日藤田医科大学ばんだね病院に山王中学校の皆さんがお越しになり、募金活動で集められた資金を代表理事の加藤庸子先生にお渡しになりました。皆様からいただいた募金は、発展途上国の医療水準向上のための貴重な財産となっています。ここで、改めて募金してくださった皆様に、心より感謝申し上げます。

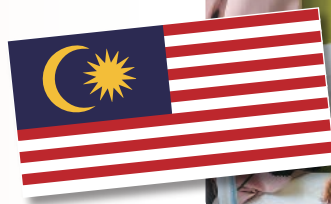
留学生の紹介コーナー

2023年4月頃からマレーシア、ウズベキスタン、バングラディシュ、エジプトから4名の留学生が来日いたしました。留学生の皆さんのメッセージを掲載させていただきます。



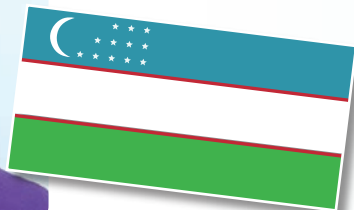
マレーシアから来たジョーイー・サムさん。

「複雑困難な症例に施される技術の高さに驚いています。脳血管や血管内治療、内視鏡の手術の見学は大変勉強になります。また毎日、技術力を高めるために人工血管を使用し吻合の練習をしています。留学の機会を下さったことに心から感謝致します。」



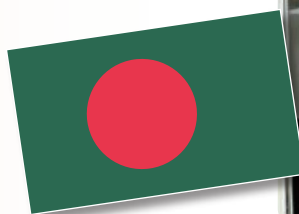
ウズベキスタンから来たバホディル・カリモフさん。

「憧れの加藤先生に直接指導いただける環境にとってもワクワクしています。言葉では表すことができないほど嬉しいです。この留学では日本の手術技術をできるだけ多く学びたいです。また日本文化にも興味があるので日本語の勉強も頑張ります。」



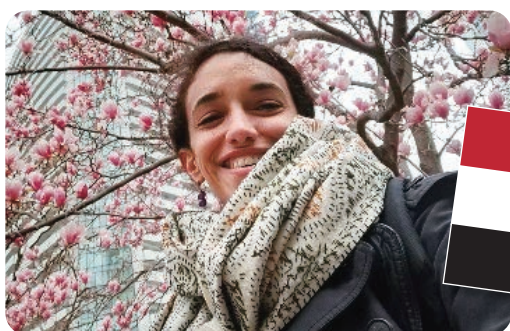
バングラディシュから来たアティーク・イスラムさん。

「私は内視鏡と外視鏡に興味があり、この留学で新しい技術を学びたいと思っています。また日本に来て周りの皆がとてもよくして下さるので嬉しく思います。加藤先生をはじめ皆様の発展途上国の若手脳神経外科医への支援に感謝致します。」



エジプトから来たヘバ・アズーズさん。

「加藤先生にとっても多くのことを教えていただいています。このような機会は若手脳外科医にとって大変貴重です。積極的に学会参加や他施設での見学へ行き実りの多い留学にしたいです。」



またヘバ先生には次頁でエジプト手術の歴史について書いていただきました。とても興味深い内容ですので、是非ご一読下さい。

古代エジプト 手術の歴史



歴史上最も古く、文字として記録された医学の一つが、古代エジプトの医学です。文明の始まりから紀元前4000年まで遡り、一般外科、整形外科、歯科、および広範な薬理学が含まれていました。手術は、外傷の治療として医師の間で一般的な方法でした。

エドウィン・スミス・パピルス(図1)は、古代史における医学書として、解剖学的観察と、多くの病気の検査、診断、治療、および予後について詳しく説明しています。おそらく紀元前1600年頃に書かれたものと考えられています。また、最古の金属製手術器具セットが古代エジプトの医師だったカールの墓で発見されました。寺院の壁に刻まれたものと同様のものでした。(図2)

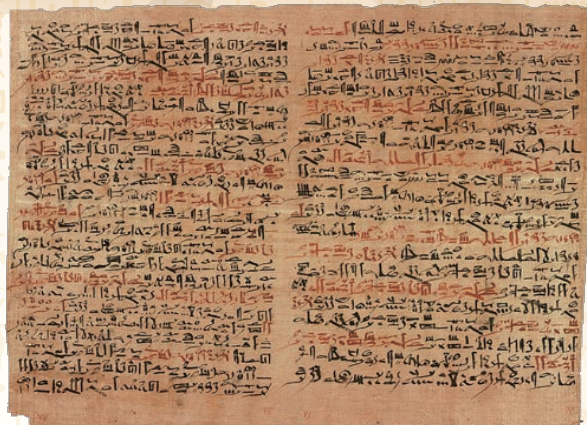


図1 エドウィン・スミス・パピルス



図2 カールの墓の
手術器具

古代エジプトの医学では脳神経外科の手術も行われていました。死者をミイラ化する際に行われていた手術は、現在、内視鏡下経鼻的蝶形骨洞アプローチとして実際に行われている最新の外科的アプローチに通じています。(図3)

今回は医療だけを取り上げましたが、歴史はとても豊かで学びの多いものです。先人たちの積み上げてきたそれから、私たちは多くを学び、明るい未来を築かなければなりません。古代エジプトの医学が現代の医学に通じているように、国同士が異なる文化であったとしても、新しい視点で知見を広げ、地理的、民族的背景に関係なく、他者と自己を繋ぎ、未来へ発展していくことを願っています。

ヘバ・アズーズ



図3 ミイラ化の手術

公益財団法人 The Yoko Kato International Foundation

加藤庸子国際基金



皆さま方からの大切なご寄付は、
発展途上国の病院へ寄贈する手術機器や教材の費用に使わせて頂きます。
優秀な人材の育成と、『救える命』を救える環境に整えること
私たちにできることからしていきたい

皆さまからのご寄付に
心から感謝申し上げます。

ご支援寄付金受付先

お振込銀行



ゆうちょ銀行

お振込銀行



名古屋銀行

お振込銀行



MUFG

三菱UFJ銀行

口座名

公益財団法人
加藤庸子国際基金
代表理事 加藤庸子

口座名

公益財団法人
加藤庸子国際基金
代表理事 加藤庸子

口座名

公益財団法人
加藤庸子国際基金

口座番号

記号:00800 2
番号:137324

口座番号

八熊支店
普通:5001977

口座番号

一宮支店
普通:0248961



各種クレジットカードからのご寄付頂けます。

詳しくは、公益財団法人 加藤庸子国際基金のホームページの
「クレジットカードでのご寄付」をご参照ください。
<https://yoko-kato.org>



お身体のことので気になることがありましたら、いつでもご相談ください。



公益財団法人 加藤庸子国際基金

代表理事 加藤庸子

TEL:090-3258-5646 E-mail:kyoko@fujita-hu.ac.jp

